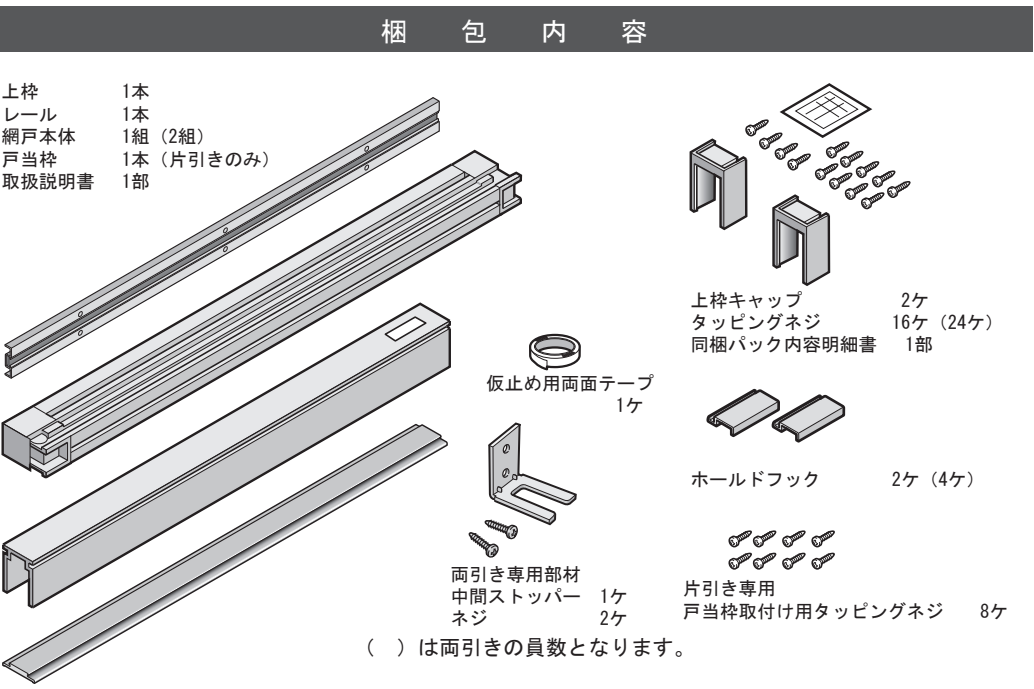
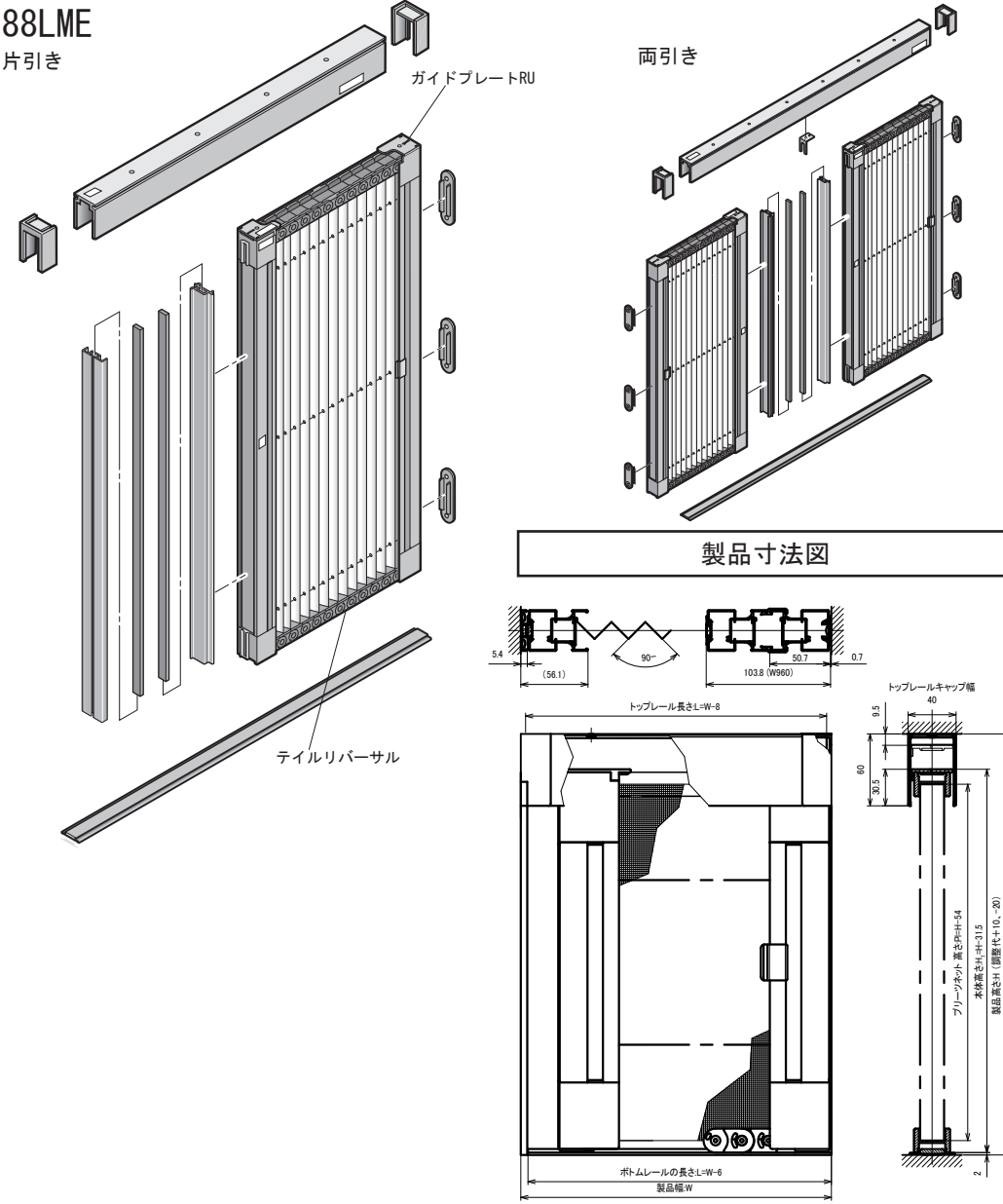
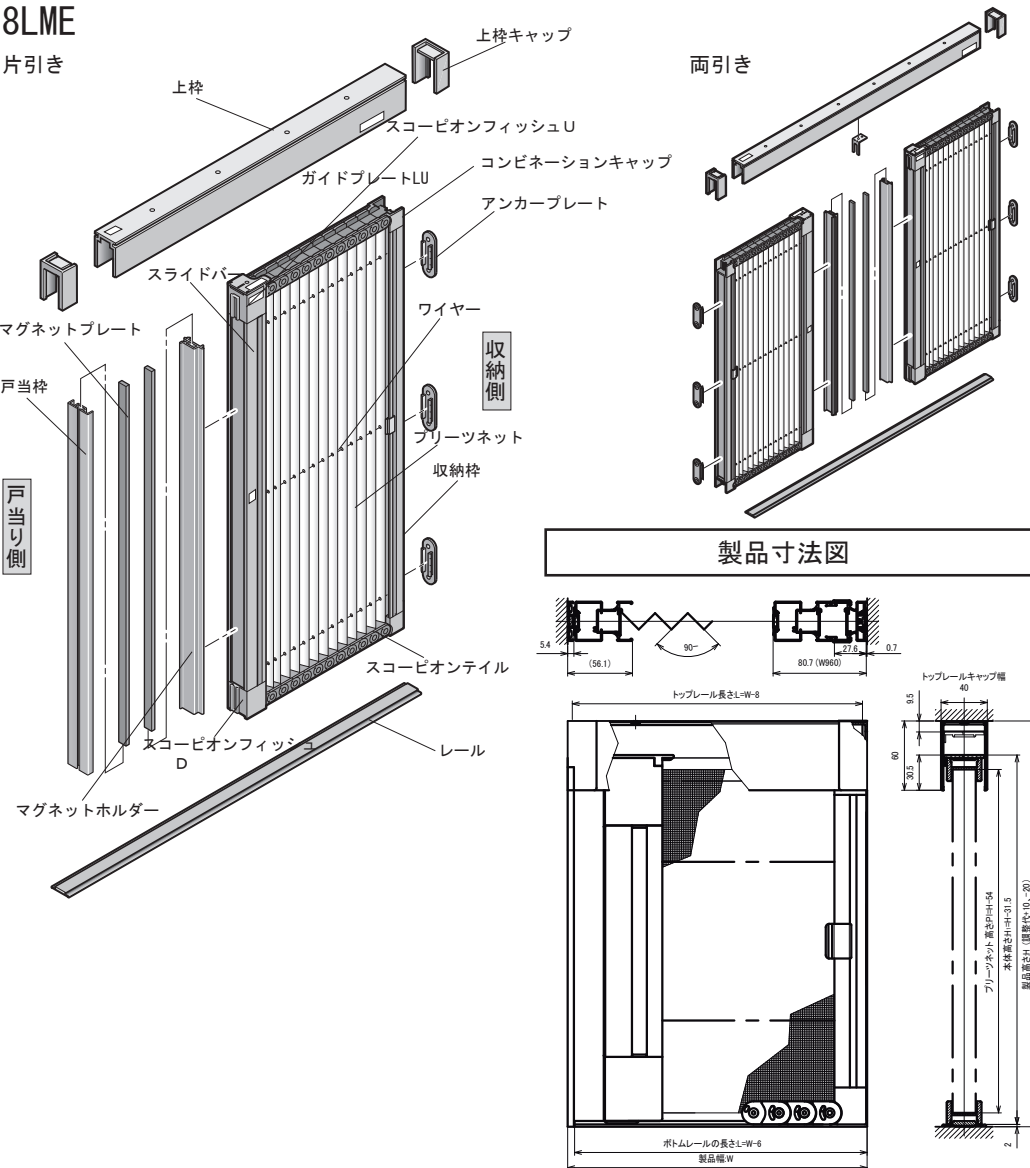
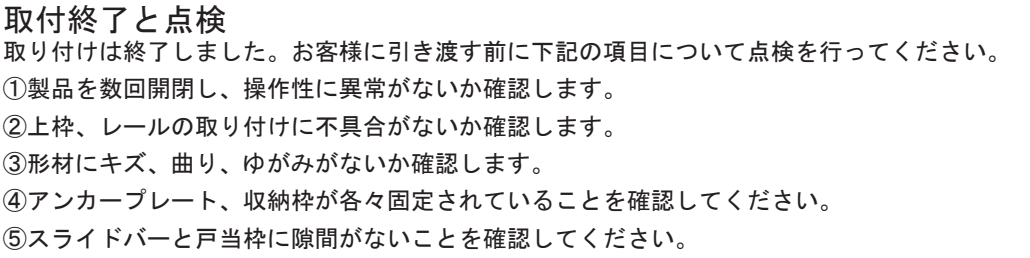
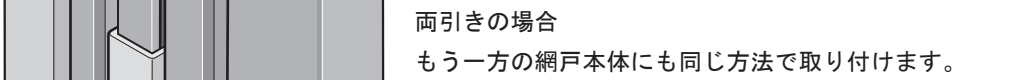
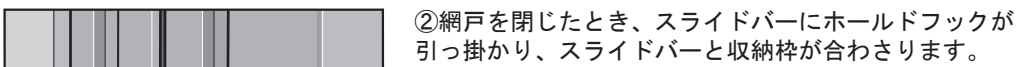
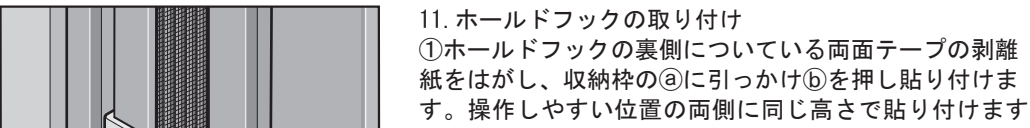
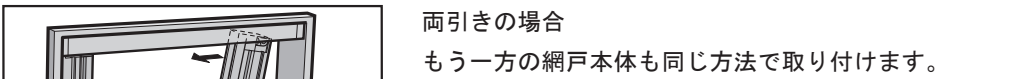
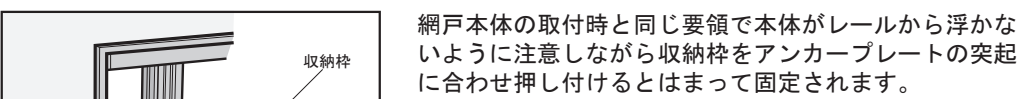
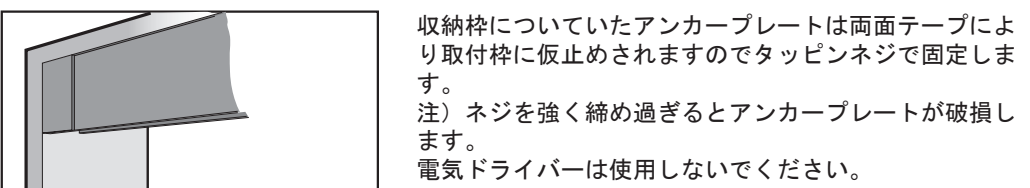
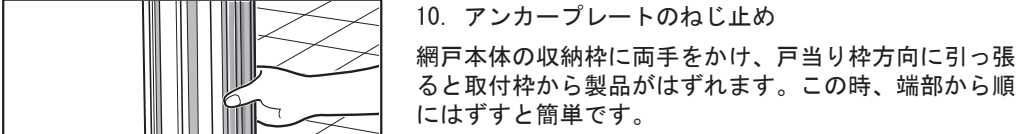
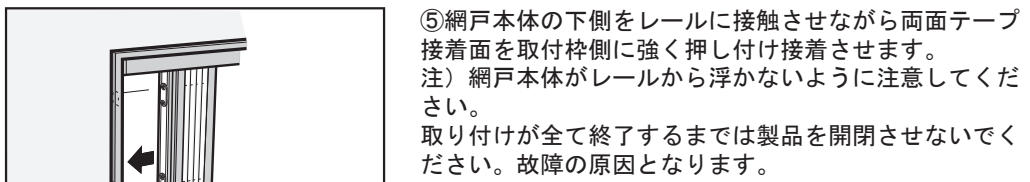
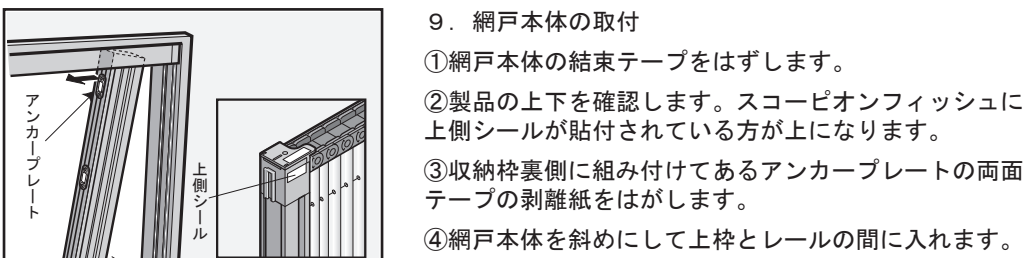
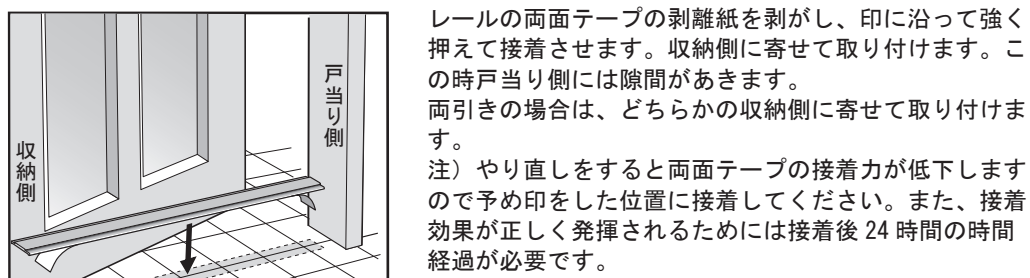
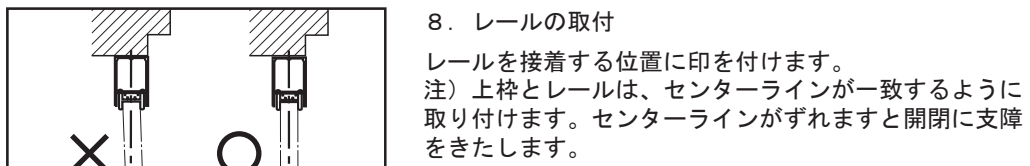
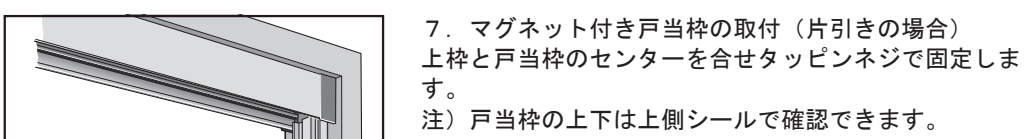
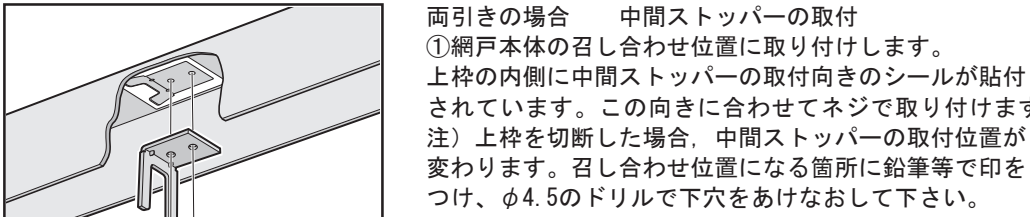
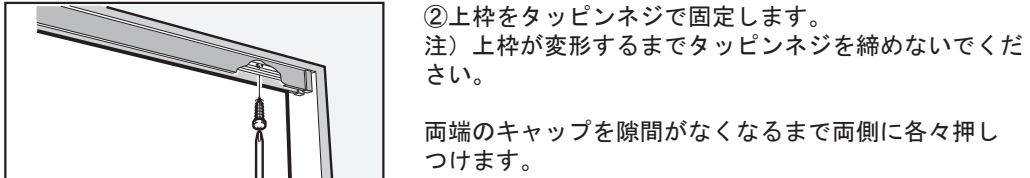
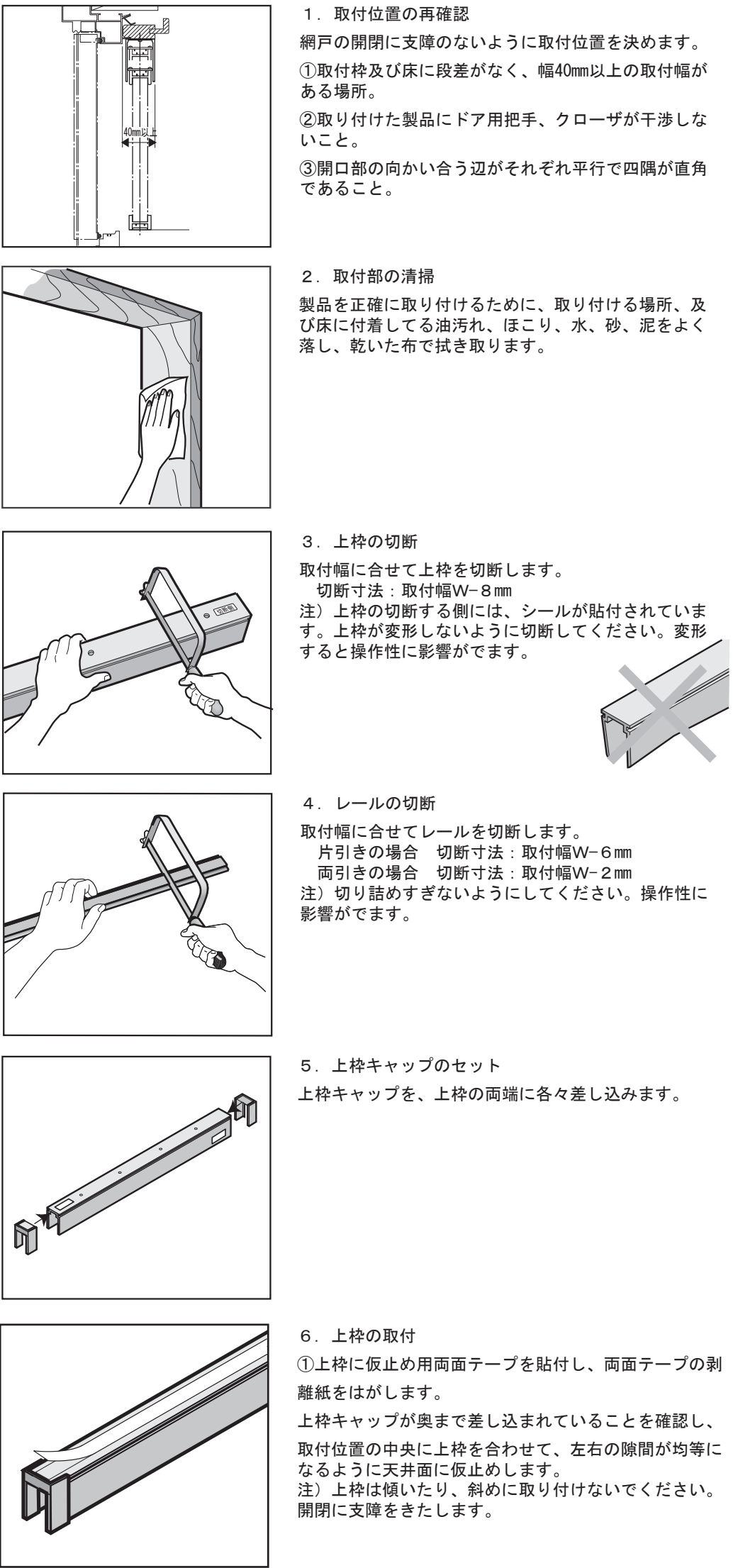


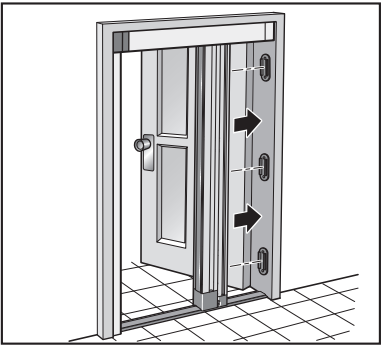
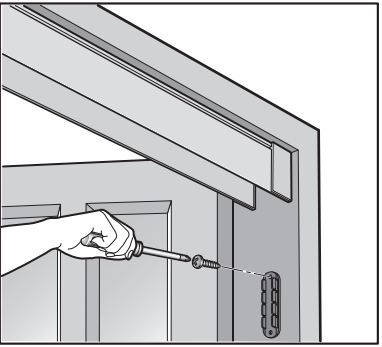
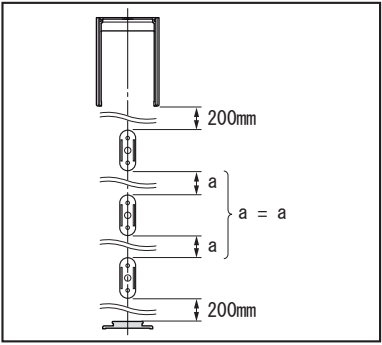
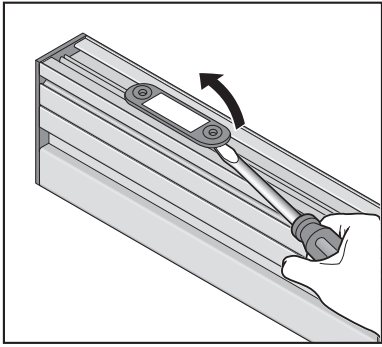
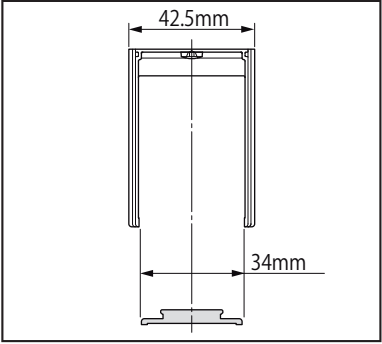
この度は、侍風をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。必ずこの説明書は大切に保管してください。

構造及び部品名称

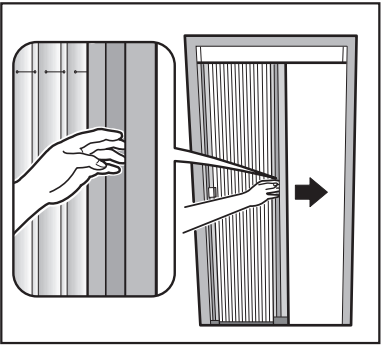
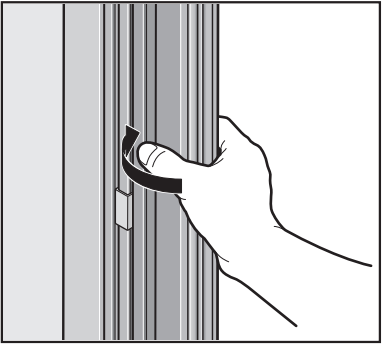


取付方法





操 作 方 法



12. クロス仕上げの場合

①収納側に上枠とレールのセンターを結んだ線を引き
ます。

②アンカープレートを網戸本体から全てはずします。

③12-①で引いた線上に、上枠とレール各々 200mm 離れた箇所にアンカープレートの取り付け位置の印をつけます。
残りのアンカープレートは等間隔の箇所に印をつけます。

④印の位置にアンカープレートの剥離紙をはがして仮止めます。
⑤タッピンネジで固定します。
注) ネジを強く締め過ぎるとアンカープレートが破損します。
電気ドライバーは使用しないでください。

⑥網戸本体の取付時と同じ要領で本体がレールから浮かないように注意しながら収納枠をアンカープレートの突起に合わせ押し付けるとはまって固定されます。
11. に続きます。

安全にお使いいただくために

警告―――警告を守ってください。火災や大けが、死亡の原因となります。

- ① 製品の近くに、温度の高くなる熱器具などを置かないでください。火災の原因となることがあります。
- ② 網戸に寄り掛かったり、押したり、重いものをたてかけたりしないでください。網戸がはずれ、網戸の落下や、転落事故につながります。
- ③ 風の強い日や、突風の吹く日はネット収納するかドアを閉めてください。倒れたり、落ちたりして破損やけがの原因となることがあります。

注意―――注意を守ってください。けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

- ① 製品の分解、改造及び部品の改造は絶対に行わないでください。また、油性の潤滑剤スプレー等を使用しないでください。砂泥等が付着し、故障の原因となります。
- ② 網戸の収納時にはネットが確実に折りたたまれたことを確認してください。ネットにくせがつき、折りたたみに不具合が発生します。

製品保証について

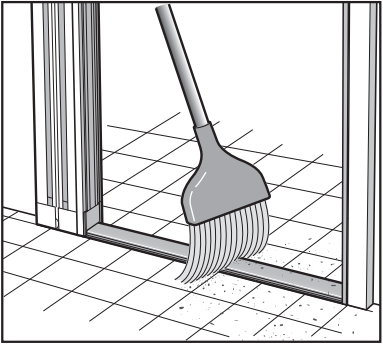
1. 保証期間
保証期間――製造日から2か年
製造日については、ガイドプレートに貼付されたシールに印字してあります。
2. 無料修理規定
取扱説明書の注意事項に従った使用状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理いたします。

3. 製品保証の免責事項
①使用上の誤り、また不当な改造による故障及び損傷。
②お買い上げ後の取付場所の移動、引越し、輸送等による故障及び損傷。
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、ガス害等による故障及び損傷。
④車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
⑤証明書の提示がない場合

4. 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

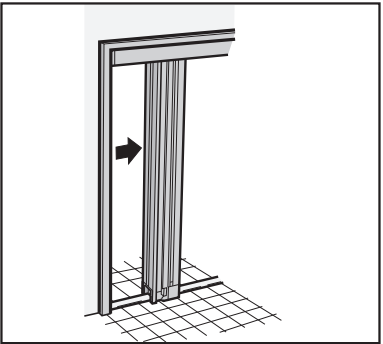
- アフターサービスについておわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 部品についてのお問い合わせは、部品名称をご参照ください。
- 本品の規格及び外観は改良のために、予告なしに変更することがありますので御了承ください。

製品のお手入れ方法



1. レールとそのまわりの清掃

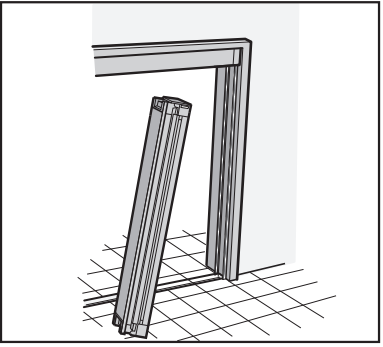
レール及びレールのまわりに小石、砂、ほこり、泥などがたまりますと、部品の磨耗や破損が起き、スムーズな開閉ができなくなります。
汚れを取り除くためにこまめに清掃してください。



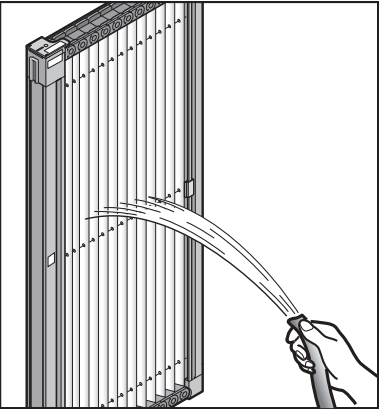
2. 網戸本体の取りはずし

網戸本体は簡単に取りはずして、水洗いができます。
ブリーツネット、スコーピオンテイルが汚れましたらブラシ等を用いて洗ってください。

①網戸本体の収納枠に両手をかけ戸当り枠方向に引っ張るとアンカープレートから収納枠がはずれます。この時端部から順にはずすと簡単です。



②網戸本体を斜めにして上枠から取り出します。

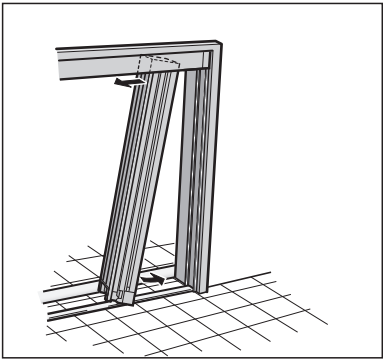


3. 網戸本体の水洗い

①網戸を広げ、立て掛けてください。
②柔らかいブラシ等で水をかけながら洗ってください。
注) ネットやワイヤーを傷めないように注意してください。
汚れがひどい場合は中性洗剤を使用してください。
シンナー、ベンジン等の有機溶剤は絶対使用しないでください。

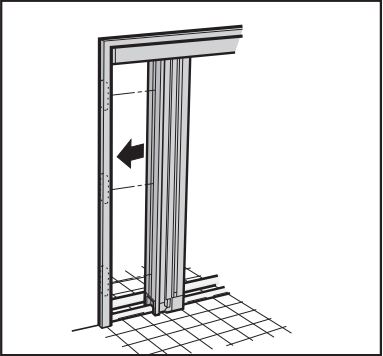
4. 乾燥

水洗い後は網戸本体の各部を十分に乾燥させてください。
注) 十分に乾燥しないまま使用すると操作が重くなります。また、砂、泥、ほこり等が付きやすくなります。



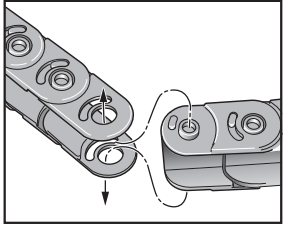
5. 網戸本体の再取付

- ①網戸を収納します。
注) 平らな床面を利用し、上部スコーピオンテイルが収納されることを確認しながらゆっくり収納します。
- ②網戸本体の上下を確認します。スコーピオンフィッシュに上側シールが貼付されている方が上になります。
- ③網戸本体を斜めにして上枠とレールの間に入れます。

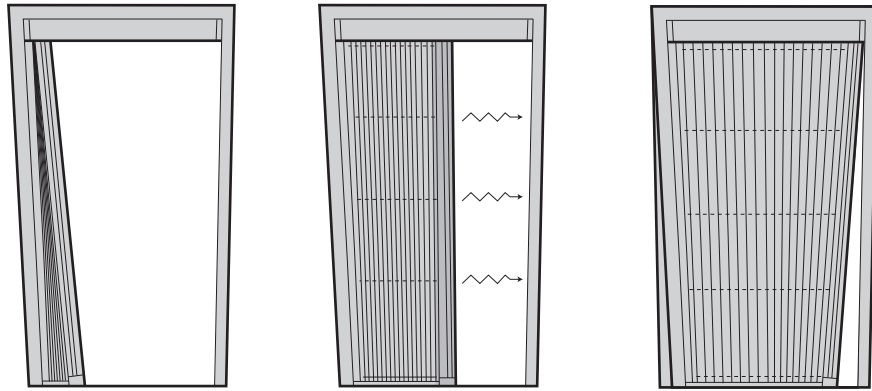


④網戸本体の下側がレールから浮かないようにしながら収納枠をアンカープレートの突起に合わせパチッと音がするまで押し付けるとはまって固定されます。
注) 再取付後網戸収納枠を引っ張りアンカープレートからはずれないことを確認してください。

作業中スコーピオンテイルの連結がはずれないように注意してください。万が一はずれても簡単に連結できます。他の連結部に合わせて連結させてください。

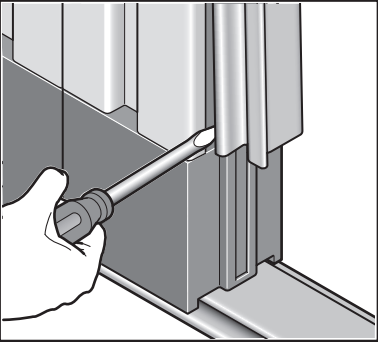


Q1 スライドバーが傾いて滑らかに動かない。スライドバーと収納枠が平行でなく、プリーツネットの納まりが悪い。
スライドバーの走行、操作感が重(軽)すぎる。
スライドバーと戸当枠に隙間ができた。

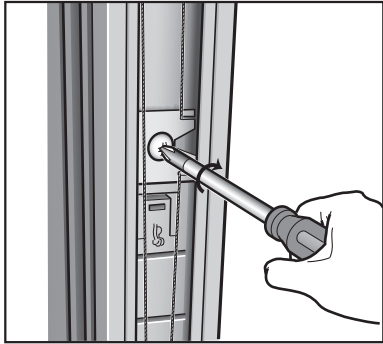


A1 ワイヤーの調整をしてください。

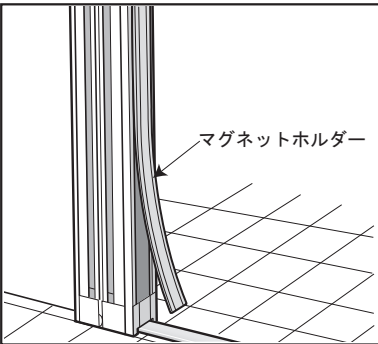
ワイヤーの調整



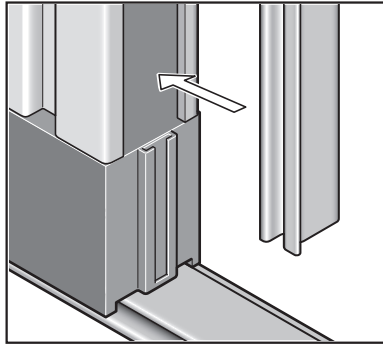
1. マグネットホルダーの取りはずし
①スライドバーの傾きを調整する調整ねじはスライドバー内側に隠れています。
スライドバーについているマグネットホルダーをはずしてから調整します。
②スライドバー下側のマグネットホルダーとスライドバーの隙間にマイナスドライバーの先端を差し込み、マグネットホルダーを持ち上げてはずします。



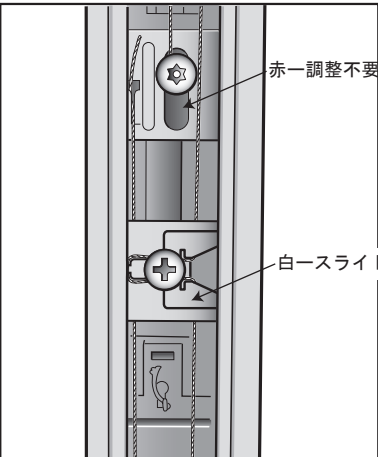
③白のねじを締めつけ固定します。
注) ねじを強くしめすぎたり、電気ドライバーを使用しないでください。部品やねじが破損する場合があります。
注) スライドバーの傾きを調整した場合は必ず、プリーツネットに通っているすべてのワイヤーの張り具合を確認し、適当でない場合は調整してください。
(4. ワイヤーの張り具合調整参照)



はずれた部分を持って下から引き剥がすようにして上まで全部はずします。



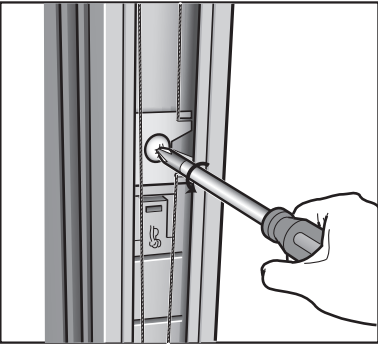
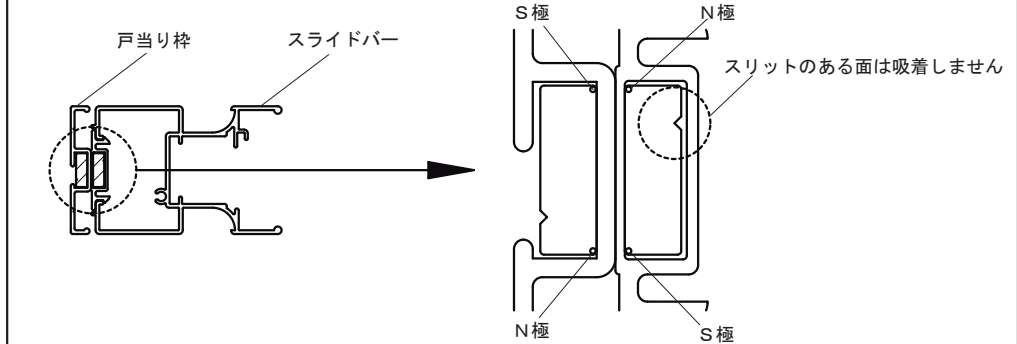
3. マグネットホルダーの取付け
調整が終了しましたらスライドバーにマグネットホルダーを取り付けます。
スライドバー下部の溝に合わせ押し付け取付けます。
注) マグネットホルダーからマグネットプレートがはずれないように注意して取付けてください。



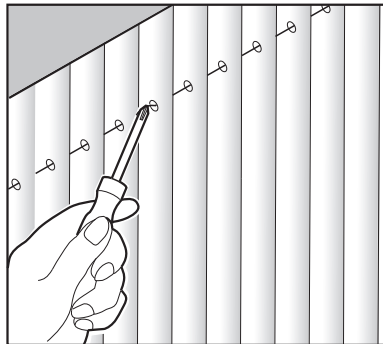
③スライドバーの傾きを調整するねじの位置を確認します。

注) マグネットプレートがはずれた場合
マグネットプレートは、戸当り枠及びマグネットホルダーにセットする際下図の方向になるようにします。

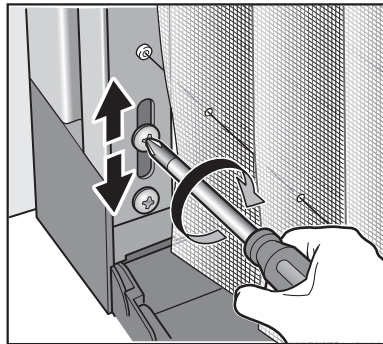
網戸本体の上側からの図になります。



2. スライドバーの傾き調整
①白のねじをゆるめます。
注) ねじの裏にはナットが付いています。
ねじをゆるめすぎるとナットがはずれてしまいますのでゆるめすぎないようにしてください。

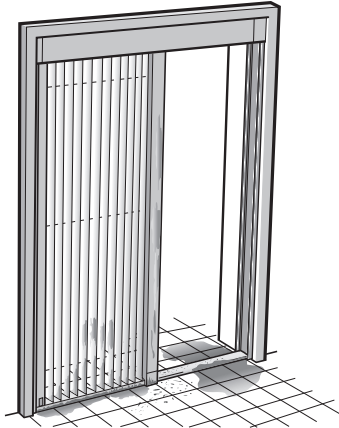


4. ワイヤーの張り具合調整
①プリーツネットに通っているワイヤーは張りすぎたり、ゆるんでると操作感が重(軽)くなります。
ワイヤーに張力がかかっていない状態が最適です。
②ワイヤーの張り具合をドライバーの先などでワイヤーの下から軽く触れ、張りすぎずたるみのないように調整します。



③ワイヤーを調整するねじはスライドバーの下側についています。
④調整ねじを少しゆるめ、上に移動するとワイヤーがゆるみます。
下に移動するとワイヤーが張ります。
⑤調整した位置でねじを締めつけ固定します。
⑥スライドバーを左右に動かし、走行、操作性を確認し具合がよくなるまで調整します。

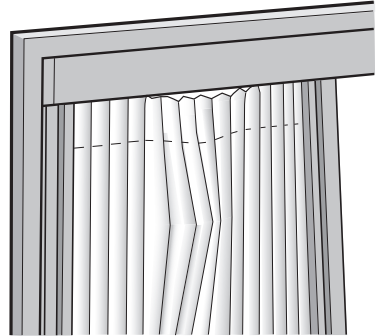
Q2 レール及びレールのまわりに小石、砂、ほこり、泥が付着してスライドバーを操作すると動きが滑らかでない。



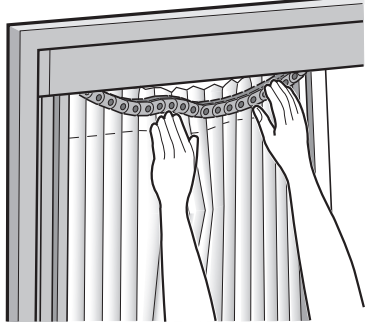
A2 レールとそのまわりはこまめに清掃してください。
(製品のお手入れ方法参照)

Q3 風の強い日や、突風の吹く日に網戸を収納せず使っていたらネットの上からスコーピオンテイルが落ち、垂れさがった。

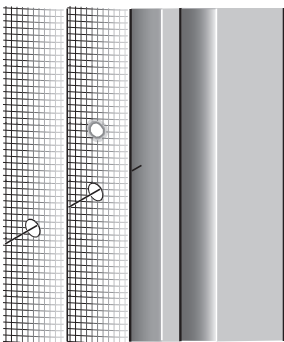
Q4 ネット上部を手で押したり、物が当たったりしたところ、ネットの上からスコーピオンテイルが落ち、垂れさがった。



A3-A4 スライドバーが倒れないようにしながらスコーピオンテイルを元の位置(ネットの上)に戻してください。
※無理にスライドバーを動かすと倒れて危険です。万一、スライドバーが倒れてしまった場合は、製品を取付枠からはずし、再度組み直してから取り付けてください。
※バラバラになったスコーピオンテイルは現場で修理できない場合があります。販売店にお問い合わせください。



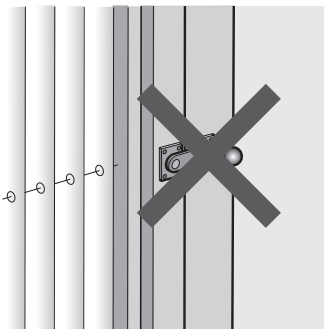
Q5 プリーツネットやネットに通っているワイヤーに誤ってタバコの火が触れ溶けて穴があったり、刃物で切ってしまった。



A5 プリーツネットの交換ができます。販売店にお問い合わせください。

Q6 スライドバーや収納枠に物があたり凹んで、スライドバーが動かなくなった。

Q7 市販の材料を使ってスライドバーに把手や鍵をねじ止めしてつけたらスライドバーが動かなくなった。



A6-A7 この製品は構造上スライドバーや収納枠の内にスコーピオンテイルが収納されます。
型材(アルミ製)に穴をあけたり、ねじを使って把手や鍵を取り付けしないでください。
ねじを取りはずしても動かない場合や、型材の凹みが原因の場合は網戸本体を交換することになります。販売店にお問い合わせください。